

コミュニティ・スクール基盤整備事業

令和5年度Akihara教育懇談会報告

1 事業目的

秋葉区の個性を生かし、次世代を育む環境づくりを推進するため、区内教育関係者を対象にした懇談会を開催する。

地域の子どもを育てる当事者としての意識を高め、地域の教育力向上をはかるとともに、地域が教育に積極的にかかわる機運を醸成する。

2 日時 令和5年8月22日（火）13:30～16:20（開場13:00）

3 会場 秋葉区文化会館 ホール・練習室1

4 テーマ 未来を担う子どもの豊かな成長は「地域とともにある学校づくり」から～学校と地域の連携で取り組むコミュニティ・スクールについて～

5 日程・内容

【開会】

13:30 開会あいさつ（副市長、新潟薬科大学学長）

【第1部 地域学校協働活動発表会】（45分）

13:40 区長報告

「区内小中学校のコミュニティ・スクールと地域コミュニティ未来ビジョンの現在地」

13:50 地域学校協働活動発表（10分×3地域）

①金津コミ協 「『学園金津』小学校・中学校・コミ協が一体となった取組み」

②新関コミ協 「学校と隣接する強みを生かした取組み」

③山の手コミ協 「こどもは地域の宝！ふれあいまつりの取組み」

14:20 移動・準備・休憩（15分） ※ホール舞台、練習室1へ

【第2部 グループワーク】（60分）※コーディネーター：大正大学 金子洋二氏

14:35 テーマ「地域の未来をパートナーシップでひらく」

・地域のパートナーシップの未来像を共有する

・目指す未来像の実現のための課題とその解決方法を出し合う

15:35 移動・休憩（10分）

15:45 情報共有・感想発表

16:05 コーディネーターによる総括

【閉会】

16:15 閉会あいさつ（自治協議会副会長）

16:20 解散

6 参加者

- ・区内の幼稚園、保育園、小学校、中学校、高校
（園長・校長・教頭・教諭・地域教育コーディネーター・PTA役員・CS委員）
- ・新潟薬科大学（学長・副学長他）
- ・教育委員
- ・区内コミュニティ協議会
- ・秋葉区役所（区長・課長他）
- ・自治協議会委員
- ・まちづくりにかかわる個人や団体
- ・学生

7 参加状況

参加申し込み 133名
 当日参加者 126名 (当日欠席9名 当日参加2名)
 グループワーク参加者 105名

8 アンケート結果 (回答数 101名)

(1) 参加者の立場 (複数回答)

	人数
学校管理職	13
地域連携担当教員	8
地域教育コーディネーター	18
学校その他	3
学校運営協議会委員	19
コミュニティ協議会	23
地域その他	1
P T A	6
行政・学生等	20

(2) 参加者の満足度

	割合 (%)
とても満足	53.1
まあ満足	46.9
やや不満足	0
不満足	0

(3) 参加して成果と感じたこと (複数回答)

	割合 (%)
自分の意見を述べる事ができた	40
他の人の意見を聞く事ができた	80
話す中で自分の考えを整理する事ができた	18
どのように議論を進めるのか、参考にする事ができた	20
テーマに対する知識やアイデアを得る事ができた	46
多くの人と交流することや話をする事ができた	42
その他 ・多くの意見がまとまり、大きな可能性が感じられた。 ・未来のビジョンについての意見を聞いた。 ・話を聞く中で、自分の考えを整理する事ができた。	3

(4) 地域総がかりで子どもたちを育てる具体的なアイデアを得ることができたか

	割合 (%)
大いにそう思う	20
おおむねそう思う	75
あまり思わない	5
思わない	0

(5) 子どもたちの教育を担う一員として、自分にもできることがあると思ったか

	割合 (%)
大いにそう思う	27.3
おおむねそう思う	68.7
あまり思わない	4.0
思わない	0.0

(6) 来年度のA k i h a 教育懇談会に取り入れたい内容や期待すること（複数回答）

	割合 (%)
さまざまな立場で教育に関わる者が集まって意見交流したい	54.9
他校や他地区の学校運営協議会や地域学校協働活動の事例について知りたい	45.1
学校運営協議会の制度や取組について理解を深めるための講演を聞きたい	17.6
学校と地域が協働して課題解決する事例を知りたい	63.7

その他自由記述

- ・ 若い世代が必要という声が多く言われるため、学生にも広く参加してもらえるような形にしたい。
- ・ 質疑応答が自由にできるような場を設けてほしい。大会場では距離があるので小グループでやりとりがポンポンできるように。
- ・ 他校、他地区の事例紹介がすごく良い。
- ・ グループワークでそれぞれの立場の活動、これからのことについて話を聞くことができ、今後の活動の参考となった。活動発表～地域の特色を活かしたすばらしい活動をされており、刺激を受けました。
- ・ 全て参考になり今後の活動に参考にしたい。
- ・ 教育関係者以外の立場の参加が大切だと思います。
- ・ このような様々な方との意見交かんの機会はとても貴重です。講演をきくよりも貴重です。
- ・ 子供や保護者が地域について持っている夢や希望がどんな物が知りたい。
- ・ 子供たちを地域総がかりで「どのように育てる」かをもっと多くの方と意見交換したい。
- ・ 中学校で部活がなくなることの対策。
- ・ どんなまち（づくり）だと秋葉区に定住したいか、どんな教育（学び）があると秋葉区に定住したいか、これからの子育て世代（結婚～6才児の子をもつ親）の声をきく
- ・ 他地区の事例をたくさん聞かせていただいて、自分たちなら何ができるか、ヒントをいただきました。またこのような情報交換の場を設けてください。
- ・ もっと学生の参加を増やし、意見交換の場があれば良い。
- ・ 継続して活動する事例で、上手く、世代交代をしている地域や活動を紹介してほしい。
- ・ 希薄となった横のつながり、地域教育力再生策のアイデアを得たい。

(7) A k i h a 教育懇談会についての感想など自由記述

- ・ 3実践それぞれすばらしい発表でした。ありがとうございました。各地域によって課題があり、それを地域全体が情報共有していくことが大切であることを実感しました。
- ・ 大変有意義でした。立場のちがう人と知り合い語り合うのは楽しいと思いました。ありがとうございました。
- ・ 初めての参加でしたがすばらしい会でした。ありがとうございました。
- ・ 今年度の教育懇談会はとても身近に感じました。
- ・ はじめて参加させていただきましたが、地域の姿がどうあってほしいのかという意見をたくさん取り入れることができとても良かった。自分のプロジェクトをつくる参考となった。ありがとうございました。
- ・ 第2部の総括を開示して欲しい
- ・ 今回自由意見が交換できて良かった。が、立場が多岐になりすぎてちょっとまとまりにくかったかも？または時間がもっと欲しい。
- ・ グループでの発表を広報等で公表したほうがいいのか。発表に限らず班ごとの考え方をみんなに知らせ、こんなことを学習しているというアイデアを公にしたほうがよいのではないか。
- ・ グループワークで様々な意見がきけて良かったです。
- ・ よい会に参加しました。多くの教員にも参加してもらおうとよいと思いました。
- ・ 地域の方の生の意見をきくことができ貴重な経験でした。
- ・ 学校と地域コミュ協の連携の重要性を改めて感じた。話し合いの場をつくる、トライ&エラーでチャレンジしていく、その姿を見せていくことが大切だと感じました。ありがとうございました。
- ・ 昨年に続き参加させていただきました。今年もご参加のみな様の熱い思いに触れることができ大いに刺激をいただきました。運営、お疲れ様でした。ありがとうございました。
- ・ 自分が住んでいる地域外の取り組みの内容や、その背景を具体的な事例を知りながら、学ぶことができました。地域に対して、他人事ではなく、自分事だと考えていくことが重要だと思いました。

- ・またやりたいです。
- ・涼しい会場でありがたかった。日程も無理がなく、充実していた。
- ・もっと多くの方が参加できるようにした方がよいと思う。
- ・ワークショップの時間をもっと多くして欲しい。
- ・山の手のMさんの話、グループでのYさんの話が参考になりました。
- ・とてもステキな企画だと思います。(第1部の)発表もできれば子どもたちにも担当してもらってはでしょうか。
- ・立場が異なる方と意見を出しあうことができ、良かった。
- ・地域によってやり方が違うこと、同じ悩みがあることが分かった。へだたりをなくして、広く交流できるようになればいいと思う。地域全体で子供たちの成長を助けられたらと思う。
- ・いろいろな立場の人の話が聞いて参考になりました。グループワークのテーマがむずかしかったですが、他班の発表を聞きながら話し合いの方向はまちがっていなかったと確認できました。
- ・大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・ワーキンググループで話し合ったことが、実現に向けて取り組む一歩になるようにしたい。
- ・ありがとうございました。
- ・コミ協の予算が少なすぎます。人材が集まりません。
- ・子どもは未来の宝です。その為は何をするかが大事。
- ・ありがとうございました
- ・素晴らしい会をありがとうございました。
- ・いろいろな話が聞いてよかった。
- ・様々な立場の方と地域と学校のつながりについてお話ができ、本当にすばらしい時間となりました。本当にありがとうございました。
- ・意義ある会なのですが、小学校が夏季休業に入るところにご案内いただき、様々な立場の方に広くこの会の文書送付、出欠確認をとるのが難しかったです。早めにご案内いただけると、児童を介して、又は夏季休業前なので直接文書の受け渡し等もでき、郵送代などがかかりません。事務処理の時間も大幅に削減できます。ご検討下さるとありがたいです。
- ・今年度は若い方の意見が聞いて良かったです。
- ・お世話になりました。少子化も考えなくては。
- ・新潟大学生の若い人の意見が聞いて有意義でした。
- ・少しむずかしいテーマかなと思ったが、話を聞いたりする中でこれからの進むべきことを整理し実行したい。
- ・様々な立場の方の御意見をうかがい参考になりました。
- ・グループワークが良かったです。
- ・有意義な企画と思います。参加者の増加があると良いと思います。

資料一覧

資料1 区長報告「区内小中学校のコミュニティ・スクールと地域コミュニティ未来ビジョンの現在地」

資料2 地域学校協働活動発表資料

- ①金津コミ協 「『学園金津』小学校・中学校・コミ協が一体となった取組み」
- ②新関コミ協 「学校と隣接する強みを生かした取組み」
- ③山の手コミ協 「こどもは地域の宝！ふれあいまつりの取組み」

資料3 グループワークの様子（写真）

資料4 各グループの収束用紙一覧

令和5年度 Akiha教育懇談会

区長報告

『小中学校コミュニティ・スクールと 地域コミュニティ未来ビジョンの現在地』

2023年 8月 22日

目次

I. 小中学校コミュニティ・スクールの今

II. 小中学校と地域コミュニティとの活動事例から

III. 地域コミュニティ未来ビジョンの策定へ

IV. 児童・生徒が自ら考え、
自ら未来を創るために

令和4年4月

○新潟市内全小中学校で『コミュニティ・スクール』スタート

令和5年4月

○新潟市総合計画2030(～令和12年まで8年間の計画)スタート

○秋葉区区ビジョンまちづくり計画スタート(～令和12年まで8年間の計画)

○区内全11地域コミュニティ協議会の未来ビジョン策定

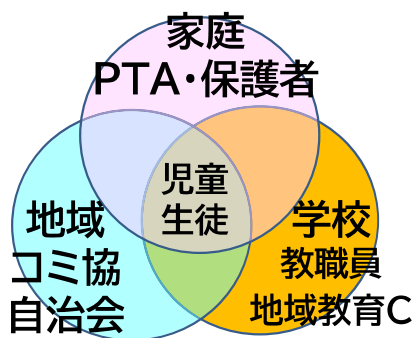
令和6年4月

○区内全11地域コミュニティ協議会の未来ビジョン実現活動・事業スタート(予定)

I. 小中学校コミュニティ・スクールの今

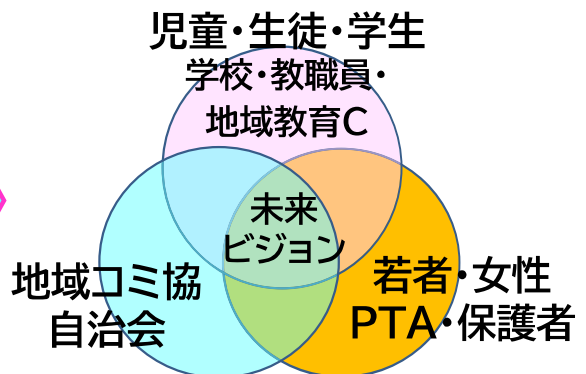
⇒ 地域コミュニティ未来ビジョンとの相関図

小中学校コミュニティ・スクール
 [「地域総がかりで子どもを育てる」まちづくり]



※学校運営協議会が年に一度、児童・生徒の教育・育成方針を話し合い、決定する

地域コミュニティ未来ビジョン
 [5年先・10年先の可能的な地域未来像]



※R5区自治協議会提案事業として、区内全11地域コミュニティ協議会が区役所を含む3者で、5年先・10年先の未来像を策定するR6年度から実践へ！

I. 小中学校コミュニティ・スクールの今

⇒ 小学校 “総合的な学習の時間”

令和4年度 小学校：総合的な学習の時間 主な取組み

〈令和4年8月：秋葉区教育支援センター調べ〉

	3年	4年	5年	6年
新津第一小	秋葉の自然、秋葉山	環境、グリーンカーテン、もち麦、地産地消	秋葉区の歴史 鉄道	自然、文化、歴史、食など様々な分野から秋葉区の魅力再発見
新津第二小	ひろがれ！柿プロジェクト 地域の自慢探し。八珍柿の歴史やの果樹の観察や作業体験。柿をアピールするダンス、スイーツ提案。	おかえり*サケプロジェクト 卵からサケの稚魚を育て放流したり、サケの生態を調べたり、能代川に戻ってきたサケをイメージした造形活動。	わたしたちの新津川プロジェクト 新津川の水質調査や生き物調査をして、新津川の環境を考え、発信する。夢の新津川をテーマにしたアート作品。行政への手紙。	おかえり*灯りプロジェクト 地域のために、未来の町、未来の自分をよりよくするために、自分たちは何ができるだろうかと考え、イベントを企画。
新津第三小	地域学習 秋葉区の特徴	ごみ処理や水資源を学ぶ環境学習	学校田でのコメ作りやわらを活用したものづくり	修学旅行に向けた会津等の他地域の学習卒業に向け自分達ができる事を考え実践
結小	地域の昔の様子	環境 水とのつながり 能代川	自然教室、幼少交流活動、食育	修学旅行、キャリア学習 夢さがし、卒業プロジェクト
荻川小	地域のお宝さがし。地域の名産品枝豆調べ。	福祉学習（高齢、障がい） 森林を題材にした環境学習	食と健康をテーマにした学習や米作り	働き方や生き方を考えるキャリア学習
小合東小	地域探検 地域のよさを見つけ、小合東地区の自慢ができるようになる	環境、福祉、感謝と未来 自分たちができることは何か 1/2成人式	食育 ひがしっこ米づくり 小合東のリーダーになるために	修学旅行、佐渡調べ キャリア学習、小合の職人に学ぶ
小合小	小合の宝 町探検 花卉産業	福祉学習	米作りと環境	地域学習（佐渡への修学旅行に向けて小合との比較）
金津小	地域探検「朝日の森」	朝日の森整備活動、植林	地域産業を学ぶ、米作りや職場体験 キャリア学習	修学旅行（会津等）に向けた他地域の学習 地域人材による職業講話等キャリア学習
阿賀小	阿賀小の昔、歴史 地域の現在の様子、特色	環境学習 水	稲作 農業体験	キャリア学習 職業講話
新聞小	発見！新聞のひと・ひと・ひと（新聞に住む様々な人々） 農業、福祉、小口のお茶づくり		新聞すてき発信局ひと・もの 地域の名産品やそれを守る人々 農業、米作り、未来へのイメージ	発信！新聞未来ビジョン 新聞の今、課題 新聞のこれからを考える
小須戸小	地域で栽培の盛んな「大豆」について調べ、栽培活動や加工食品を作る。	地域の伝統や文化について調べ、そのよさを発信する。自然災害について学び、防災・減災に向けた発信をする。	地域の主生産物の米作りや町並み（町屋）の調べ活動を行い、その良さを発信する。	他の地域の状況と比較し、小須戸のよさや実態から課題を知り、実現したい「小須戸の未来」を描き提案する。
矢代田小	矢代田駅周辺の美化活動に地域の方や幼児・中学生と共に取り組む。	地域の茶の間の方との交流や、ふれあい会館と矢代田小学校が協力した美化活動（花、イルミネーション等）に取り組む。	学校田を活用した米作り体験や発信活動に取り組み、収穫した米を地域の方に寄贈する。	地域防災学習での学びを「山の手地区ふれあい祭り」で地域に発信する。
全校で「山の手地区ふれあい祭り」に参加し、地域が元気になるいきいき表現発表を行う。また、小中、コミ協、行政の地域ぐるみの合同防災活動を行う。				

I. 小中学校コミュニティ・スクールの今

⇒ 中学校 “探求学習”

令和4年度 中学校：探求学習 主な取組み

〈令和4年8月：秋葉区教育支援センター調べ〉

	1年	2年	3年
新津第一中	特産物探究学習 特色ある探究学習と、学習の成果を地域へ返還する発表会の実施 全校生徒による稲作体験活動（地域の大学への参加呼びかけ）	職業探究学習	キャリア形成探究学習
新津第二中	地域学習 地域の特色や地域人材からの学び	キャリア学習 職場体験	修学旅行に向けて他地域調べ キャリア学習 上級学校や職業調査
新津第五中	人間関係作り 福祉学習 職業講話	職場体験 市内巡検	修学旅行 上級学校訪問
小合中	地域資源を活用したキャリア学習 地域の主要産業の農業に親しむ畑づくり 小合のひと・こと・ものを伝えよう（プレゼン）	職場体験 畑づくり 野菜販売（コミセンの行事に合わせて実施）	将来設計 高校卒業後を考える
金津中	郷土調べ 石油、遺跡 調査、発表	職場体験 まとめ、発表	修学旅行 地域貢献活動（朝日の森保全活動）
小須戸中	地域人材「達人」から学ぶ 里山学習	SDGs学習 職場体験	修学旅行に向けて他地域調べ 上級学校訪問

Ⅱ. 小中学校と地域コミュニティとの活動事例から ⇒ コミュニティ・スクールとしての実践

〈 新津第二小学校 ⇨ 新津東部コミ協 〉

※事業担当の総務部長は、元五中のPTA会長

↓ おかえり*サケプロジェクト



●骨組み：組み立て作業



●和紙貼り作業

↑ ↓ おかえり*灯りプロジェクト



Ⅱ. 小中学校と地域コミュニティとの活動事例から ⇒ コミュニティ・スクールとしての実践

〈 新関小学校 ⇨ 新関コミ協 〉

※ 総合的な学習の時間「小口のお茶づくり」



新関小学校3, 4年生によるお茶摘みや製茶の体験学習(総合)が行われました。この体験学習は小口の茶畑(渡辺与志和さん所有)で毎年行われているもので、地域の「小口手づみ製茶法伝承の会」が中心となって茶摘みや製茶などの学習に協力しました。

引率ボランティアの保護者や区職員、農協関係者、報道関係者も取材に訪れ、いつもは静かな茶畑もこの日ばかりは子供たちの元気な茶摘みの歌が聞こえてくるなど賑やか1日となりました。

Ⅱ. 小中学校と地域コミュニティとの活動事例から ⇒ コミュニティ・スクールとしての実践

〈 小須戸小・矢代田小 ⇨ 小須戸中 ⇨ 小須戸コミ協・山の手コミ協 〉

↓ 小中コミ協合同防災訓練



Ⅱ. 小中学校と地域コミュニティとの活動事例から ⇒ コミ協内に“(仮)子ども部会”設置を依頼中

【設置依頼の主旨】

- コミュニティ・スクールのコミ協側の窓口(カウンターパート)が求められている
- コミ協独自で、または学校と連携した子ども中心の事業実施が期待されている
- (仮)子ども部会にPTA保護者参加で、コミ協の将来の担い手が育つ機会に
- コミュニティセンター内に、生徒・学生のための自習室開設も依頼中
⇒ 夏・冬休み、受験勉強や放課後学習の場所、ゲーム・スマホを離れて安全・安心に

【地域コミュニティ協議会基礎情報】

R3年度	小中学校区		子ども関連部名	教育活動の状況(R3年度) ⇒ コミ協活動を子ども分野にも拡充へ
新津中央コミュニティ協議会	新津第一小	新津第一中	文化教養部、健康福祉部	健康測定会、自学ひろば、おはよう朝ごはん料理講習、緊急情報キット配布
新津西部コミュニティ協議会	新津第三小		教育部会	青少年健全育成事業支援、四年野球
荻川コミュニティ振興協議会	荻川小、結小	新津第二中	文化教養部	「あいさつ運動」の展開、学社民融合事業、各校の総合学習に対し講師を派遣
新津東部コミュニティ協議会	新津第二小	新津第五中	児童育成部	子どもの遊び場、夏休みわくわく講座、鶴津川おかえり灯りふるじえくと
満日コミュニティ協議会	阿賀小		教育・文化部会	満日地区世代間交流事業、団化祭、さいの神(どんど焼き)
阿賀浦コミュニティ協議会			子供育成部	青少年健全育成活動、団体みラジオ体操
新聞コミュニティ協議会	新聞小		文化教養部、児童クラブ	世代間交流事業、毛筆に親しむ会、図ッパと児童の地域学習
小合地域コミュニティ協議会	小合小、小合東小	小合中	文化教養部、学校部	愛さつ運動、芸術祭
金津コミュニティ振興協議会	金津小	金津中	文化教養部	ふるさと塾、地区文化祭、畠津地区ツアーガイド
小須戸コミュニティ協議会	小須戸小	小須戸中	環境・教育部会	子どもの居場所づくり、福祉バス研修、田コキャップ回収事業、塾しんでECOごみの分別学習会
山の手コミュニティ協議会	矢代田小		ふれあい事業部	地域と学校合同美化活動、地域と学校図れあい事業、ミニ門松づくり教室

Ⅲ. 地域コミュニティ未来ビジョンの策定へ

⇒ 中学生3名が参加（山の手コミュニティ）

【7月2日、8月6日ワークショップ】

中学2年生3名、PTA役員5名
民生・児童委員、特養施設園長、経営者
自治会・コミ協役員 参加



【提案内容】

- 若い人が参加する街づくりをしていきたい
- 卒業して県外に行った子ども達が帰ってくる街にしたい

【ふり返し】

- 参加している年齢層が広くて良かった
- 若い世代が未来に繋がっていることを認識した

Ⅲ. 地域コミュニティ未来ビジョンの策定へ

⇒ 高校生2名が参加（小須戸コミュニティ）

【7月17、8月11日ワークショップ】

高校1年生2名、小中PTA役員3名
移住者、福祉事業所理事長、農業従事者
企業経営者、文化協会、スポーツ少年団指導者
地域教育コーディネーター、自治会・コミ協役員 参加



【提案内容】

- 保護者、子ども、地域で繋がりを深めたい
- 子ども達が帰ってくる街に
- 見本となる大人としての意識

【ふり返し】

- 高校生の考え方が柔軟で感心！
- 様々な意見から刺激を受けた
- より具体的に実現できるよう、沢山の人が参加してもらいたい

Ⅲ. 地域コミュニティ未来ビジョンの策定へ

⇒ 小中高生10名が参加（阿賀浦コミュニティ）

【7月22日ワークショップ】

小学6年生5名、中学3年生4名、高校1年生1名、
現・前PTA役員3名、自治会・コミ協役員 参加



【提案内容】

- 大人になっても友達ができる街、カラフルで色のある街(小学生)
- 子どもが率先して街の未来を考えられる町(中学生)

【ふり返り】

- 沢山の人が褒められたのが嬉しくて、家族にたくさん話したい
- 小中高生の発表のレベルが高く、大人も勉強しなければと感じた
- こういう会を大規模で行うと、色々な意見が出て街が活性化する

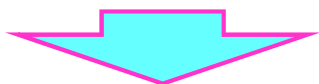


Ⅳ. 児童・生徒が自ら考え、自ら未来を創るために

⇒ 子どもを中心とした未来のまちづくり実践中！

目的 ⇒ ゴール

1. 大人(家庭(PTA保護者)・学校・地域)が、主体的に未来を創る姿・背中を子ども達に見せよう！
2. 多世代皆で取組むことで、変化や失敗恐れず(トライ&エラーで)、子ども達も一緒になって果敢に取り組もう！



未来ビジョン実現の為に(手段)

⇒ コミュニティ・スクール活動を盛り上げることで、児童・生徒が自ら考え、自ら未来を創ることができるように！



秋葉区 区ビジョンまちづくり計画 概要



区の将来像 **里山と水に囲まれて 花と緑あふれる 笑顔咲きそろうまち**

計画期間 **令和5年度(2023年度)から令和12年度(2030年度)**



I 環境に配慮した 潤いとやすらぎのあるまち

- (1) 愛着と誇りを持てる里山文化の創造
- (2) 人と自然が調和した美しい景観の保全
- (3) 脱炭素社会の構築



- 多くの区民が集い、里山とまちが一体となった賑わいを創出し、愛着と誇りを持てる秋葉区ならではの里山文化の創造を目指すとともに魅力を発信していきます。

- 緑豊かな里山や河川などの恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐべき貴重な財産ととらえ、人と自然が調和した美しい景観の保全と活用を図ります。

- 多様な主体が、主体的にかつ協働しながら、潤いに配慮したライフスタイルへの転換に取り組み、まちづくりと一体となった脱炭素社会の構築を推進します。

- 住民・地域・行政・学校が地域で連携・協働する、活気あふれる、美しく、元氣な、まちを目指します。

- 持続可能なまちづくりのため、区民との協働による、しなやかで柔軟な対応・防災の地域づくりに努め、地域で助け合う安心・安全なまちを目指します。

- お互いを思いやる心、地域でともに助けあい支えあう心、自然にも人にもやさしい心を育み、笑顔でひとつと暮らせるまちを目指します。

- 多様な主体が協働しながら、子育て・教育環境を創り、次世代を育み続けたいと願えるまちづくりを目指します。

II やさしさがあふれる 楽しく元氣なまち

- (1) 産学官、地域が連携したまちなか活性化
- (2) 安心・安全なまちづくり
- (3) 人がつながりともに支えあうやさしいまち
- (4) 秋葉区の個性を活かして次世代を育むまち
- (5) 交通網の整備と持続可能な地域公共交通の確保
- (6) 協働によるまちづくり



III 歴史と個性を活かすまち

- (1) 歴史ある文化や宝物の積極的な情報発信
- (2) 個性を活かした交流のあるまちづくり
- (3) 文化の継承と創造による文化活動の振興
- (4) 健康で豊かなスポーツ活動の振興



- 里山や鉄道、石油、花き・花木、町並みなど、歴史ある文化や宝物を地域との協働により、積極的に情報発信するとともに、愛入体制の充実を図ることで、移住・定住・関係人口を増やし、区の個性を活かした観光交流の盛んなまちを目指します。

- 秋葉区固有の文化の継承と創造による発展と、スポーツ活動の振興に努め、健康で心身ともに豊かに過ごせるまちを目指します。

- 秋葉区の恵まれた地域資源を活かし、産学官・産学官の連携による企業誘致を目指すとともに、新しい技術や産業を生み出し、新たな可能性が育ち定着するまちづくりを進めます。

- 全国屈指の花き・花木の産地としての地位を発信するとともに、魅力的な農産物のブランド化の推進や新技術の導入、新しい手の育成に取り組み、安定した農産物の供給を目指します。

- 地域の暮らしや教育、産業など様々な分野でデジタル化を推進し、全ての人が孤立することなくメリットを享受できるまちを目指します。

- 秋葉区ならではの魅力の発信を強化し、働き方の変化による地方暮らしへの関心の高まりをとりえ、移住の促進と関係人口の創出を図ります。

IV 可能性を生み出し育て活かすまち

- (1) 産業の振興
- (2) 全国屈指の園芸産地の魅力発信と環境にやさしい安心・安全な農作物の供給
- (3) 新潟薬科大学、商店街などとの連携
- (4) 関係人口の拡大と移住促進



ご清聴いただき、ありがとうございました



Akiha Mountain Play Park

自分の責任で自由に遊ぶ

www.facebook.com/akihama.mountainplaypark

学園金津

小学校・中学校・コミ協が一体となった取組

金津コミュニティ振興協議会

9年間で子どもを育てる

学園金津の教育ビジョン

自分の未来・金津の未来を創り出す子ども

- 自分で考え、よりよい判断をし、進んで行動する
- 自ら課題を見付け、多様な他者と協働して、最適な解決方法を探究する
- 自らの力を発揮して、地域や社会に貢献する

金津小学校



学園 金津



金津中学校

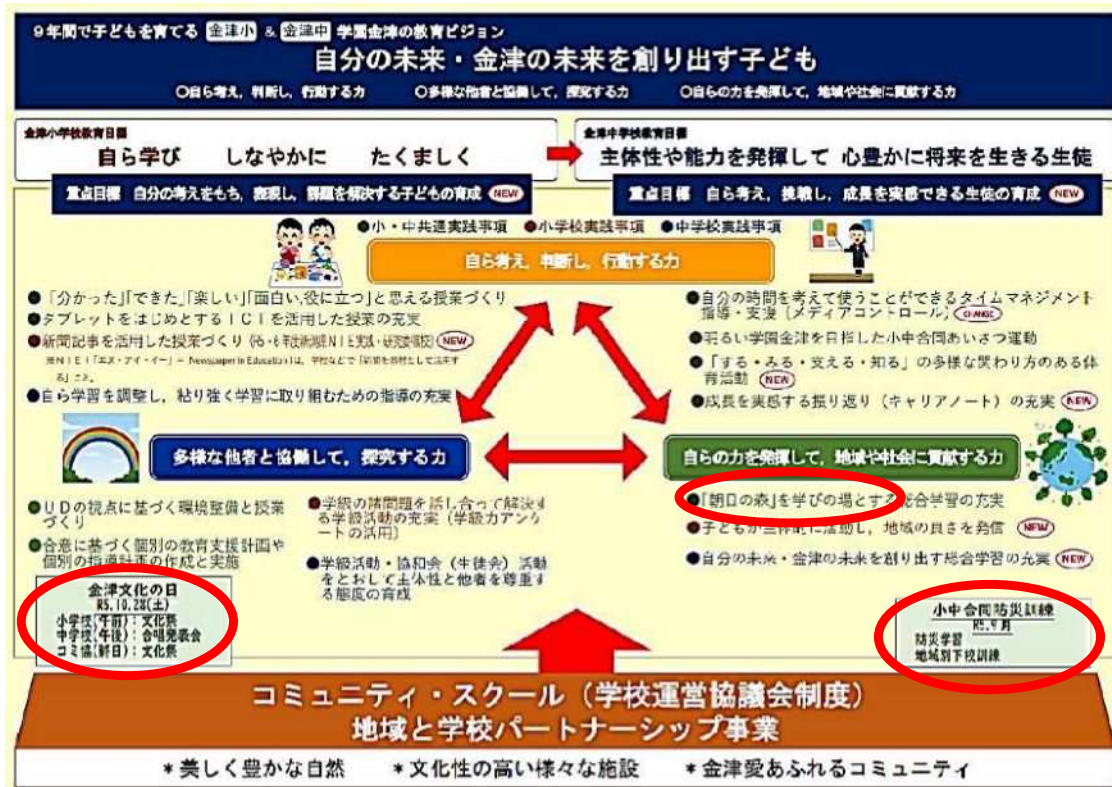
3

学校運営協議会



4

学園金津の教育ビジョン

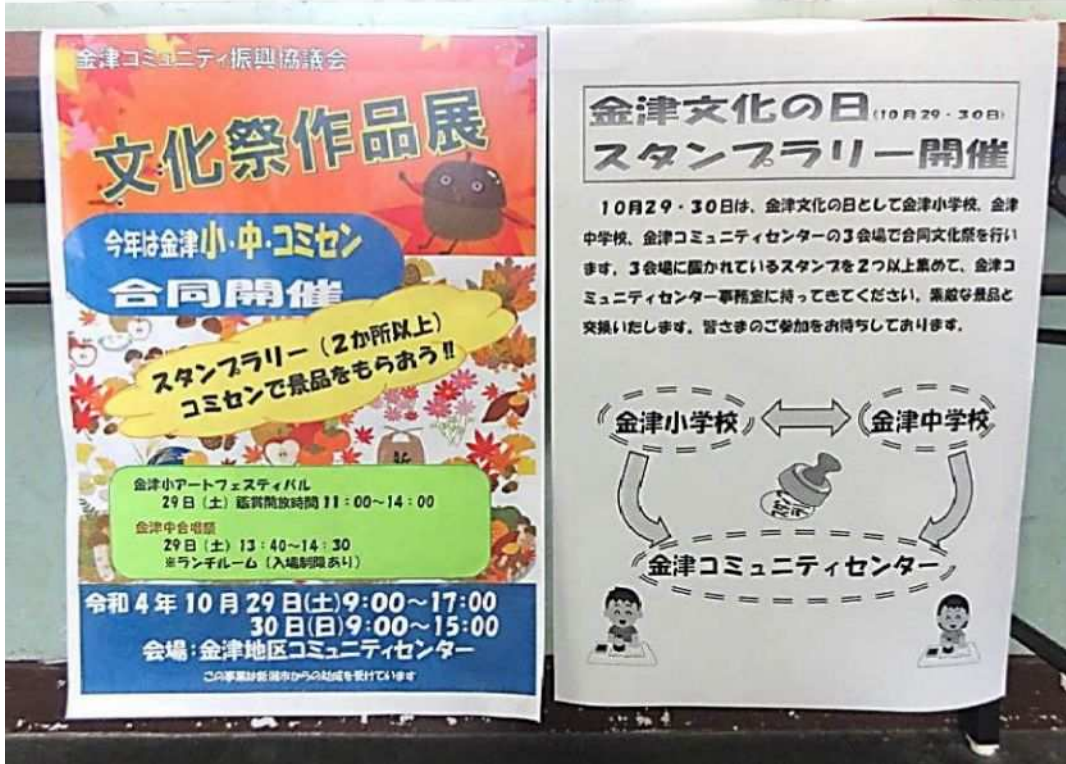


5

小中学校合同防災訓練 ZOOM本部

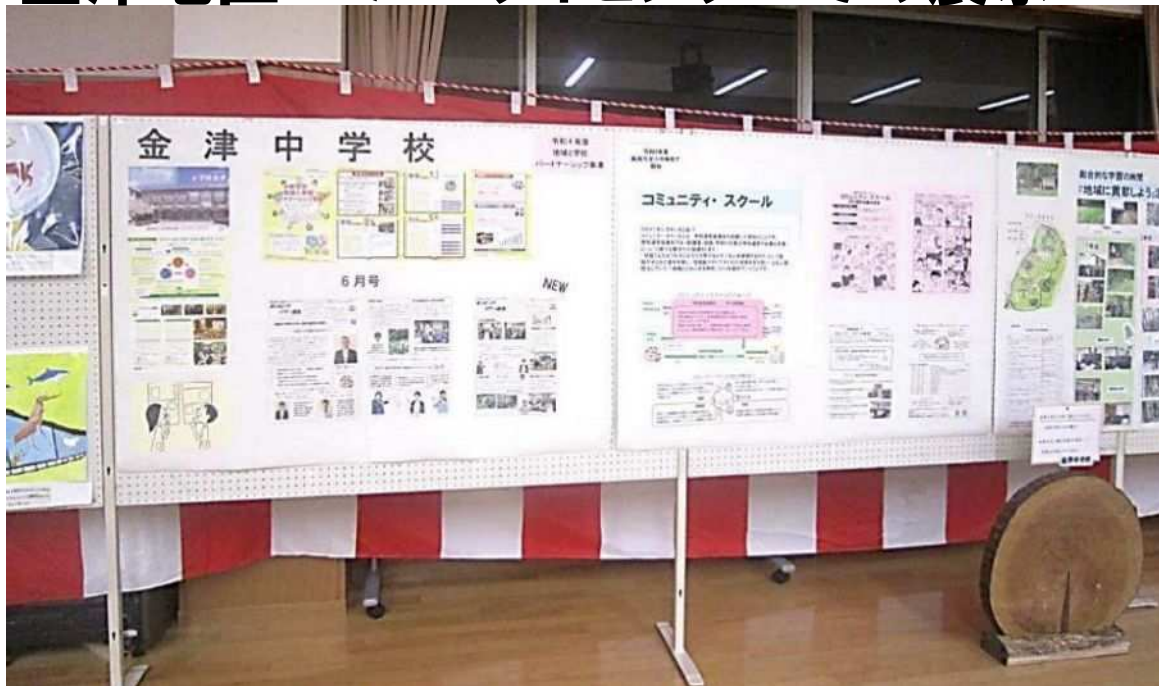


金津文化の日



9

金津地区コミュニティセンターでの展示



10

金津地区コミュニティセンターでの展示



11

中学校の合唱の様子をZOOM配信



12

朝日の森保全活動



13

朝日の森保全活動



14

集団下校訓練 地域子ども会の様子

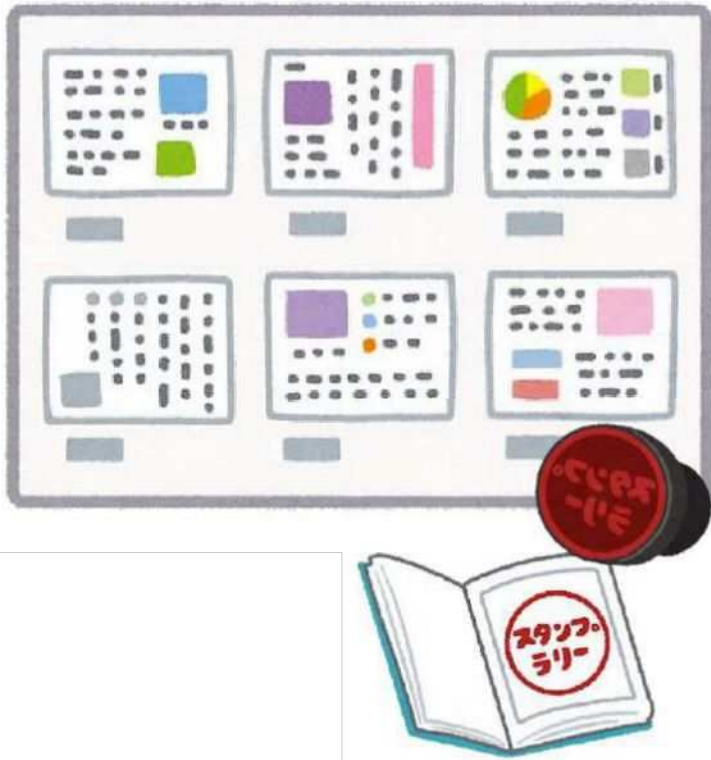


15

学校出発



16



19

ご清聴ありがとうございました



20

学校と隣接する強みを生かした取り組み

新関コミュニティ協議会

【はじめに】



平成22年に小学校新築工事と新関コミュニティセンターの建設工事始まる。この二つの施設建設にあたり、両者を繋ぐ「連絡通路」を強く要望し実現する。

この連絡通路は学校とコミ協(地域)とが強い信頼関係で結ばれる象徴的なものとなっている。

連携の象徴 「連絡通路」

- 小学校とコミ協の思いがつながり、心が伝わる。
- 双方の連携事業行事などは、お互いに行き来し、綿密に計画・相談・実践
(学校からの協力要請 ⇄ コミ協からの協力要請 → コミ協スタッフ 自治会 地域住民)



【学校と連携した事業等】

	月別の連携、支援、共催事業等		通年実施の事業	
	事業等	内容等	事業等	内容等
4月	○安心安全見守り隊(50人余) ・出発式・児童との対面式 ・集団下校指導	コミ協スタッフ・児童民生委員・自治会役員・安全協会・有志等で構成	○登下校時の児童の見守り	・「ながらパトロール」を主に交通安全・不審者・害獣災害時の誘導
5月	○5年生田植え支援	・地域のお助けマン ・コミ協スタッフ	○青色パトロール車(3台)で定期的にまた、緊急時に出勤し地域を巡回 	・交通安全・不審者・害獣災害時の誘導・情報収集 
	○しんせきふれあい運動会	(共催事業)		
	○クリーン作戦	(共催事業:学校・育成会・自治会)		
6月	○3,4年生茶摘みと茶もみ体験	(小口茶の手摘み保存会)	○「しんせき児童クラブ」の運営 	・児童 36名 (長期休業中のみ5名を含む) ・定期的に学校と情報交換会 ・日常、学校職員が児童の様子確認と学習の支援等
	○三者合同避難訓練	(コミ協・小学校・保育園)		
7月	○七夕飾りに願いを込めて	・小学校・保育園・こぐち苑・児童クラブ・地域のお茶の間・老人クラブ・自治会		
8月	地域行事に参加			
9月	○はさ木づくり はさ木のある学校として有名	・コミ協スタッフ ・コミ協スタッフ	○しんせき夢マップとマップ補助資料を使っでの地域学習(総合) 	・地域学習の支援 コミ協役員・自治会関係者等 
	○5年生稲刈り	・地域のお助けマン		
	○地域学習と全校ハイキング	・しんせき夢マップを活用した地域の文化史跡、自然等を探索 ・ガイド役にコミ協スタッフ、自治会		
10月	○新関ふれあい祭り・作品展	新関小と同日開催 学校職員も作品出品		
11月	○5年生収穫祭と学習発表	コミ協スタッフや協力者を招待		・学習の支援 コミ協役員・自治会関係者等
12月	○小学校総合学習発表会	コミ協スタッフや協力者を招待	○会報の発行(年8回)	・会報で小学校の活動の様子や児童クラブの様子を紹介
1月	○全校書初め大会	後日、コミセンにも掲示		
3月	○ひな飾り作成	つるし雛作成に参加		



三者合同避難訓練(小学校・保育園・コミ協)



安心安全見守り隊出発式・児童との対面式・集団下校指導



5年生田植え・はさ木づくり・稲刈り・はさ掛け・脱穀作業



茶摘みと茶もみ体験学習



新関ふれあい運動会：パンとり競争・卒業生によるよきこいソーランおどり



七夕飾りに夢を託す小学生



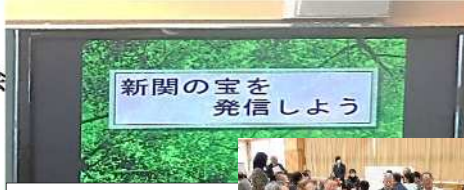
しんせき夢マップを使っての地域学習



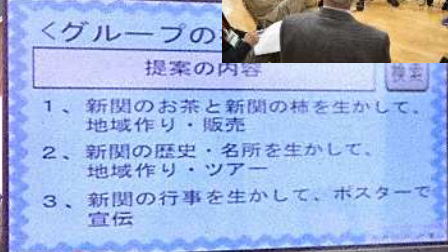
学校職員も出品する新関ふれあい祭り・作品展



地域の方を招待し収穫祭



総合学習の発表会



出張授業



自分たちのつるし雛飾りにご満悦



民間の学童施設が突如閉館。新聞コミセンを使つての学童保育運営に向け、地域住民の強い要望があった。行政側からの要請もあり、「地域の子どもは地域が守る」をモットーにしてきた新聞コミ協として、「児童クラブ」の開設を決断。5年目を迎えている。

学校からコミセンまで1〜2分。道路に出る心配なし。館内の広いスペースと駐車場完備の好条件で保護者も安心して預けられると好評。

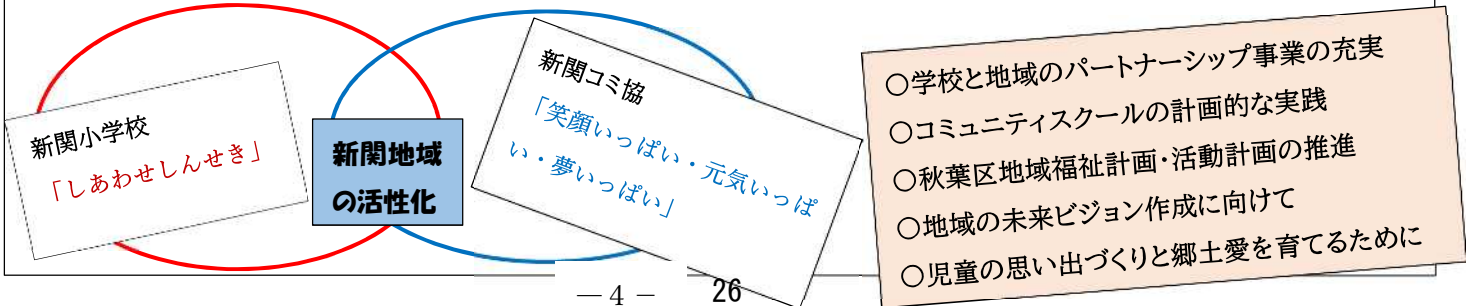
学校職員も時々様子を見に来館。学習指導や生徒指導にも支援。

【終わりに】



新聞小学校は今年創立150周年を迎え、12月1日に記念式典が行われる。この節目の年にあたり、学校、PTA、コミ協、地域が一体となって準備を進めている。

これまで培ってきた先人の偉業と伝統、よき文化や風土、恵まれた自然環境、文武両道を誇りにしてきた地域住民の学校への思いなどを再確認する機会としたい。そして、学校も地域も共に新しい時代に向け力強い出発の年にしたい。

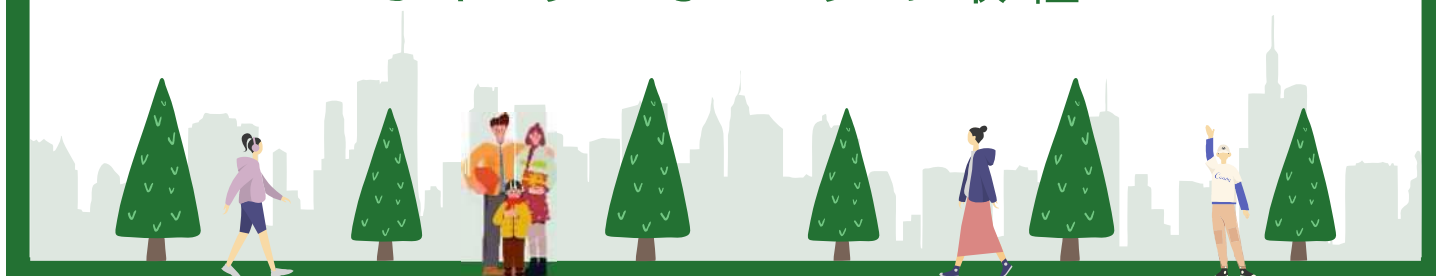


AKIHA 教育懇談会



山の手コミ協

子どもは地域の宝
ふれあいまつりの取組

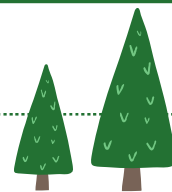


テーマ

大切にしたい！ 地域の絆と助け合い

～大人が作る祭から、子供たちが作る祭へ～





01 ふれあいまつりの目的

02 絆と助け合いとは

03 どんな祭にしたいか

04 チャレンジしよう

05 私が感じること

Table of Contents

ふれあいまつりの目的

01

01

ふれあいまつりの目的

地域住民の ふれあいの場

地域の絆を深めるイベント
そのことにより災害時にも生かせ
普段から助け合える



02

絆と助け合い



02

絆と助け合い

絆

絆は切れるものでく、絆は生まれるもの。
深めるもの。
愛情や愛着が生まれると信頼が深くなって
強い絆となる。



助け合い

助け合いというのは友人や家族との間だけでおこなわれるわけではなく、災害時の助け合い、国と国との助け合い等、現代社会においては様々なレベルでの助け合いが必要とされている。
日本には豊かな暮らしができるため、「助け合い」の風習がある。

03

どんな祭にしたいか！



03

どんな祭にしたい？

防災クイズ
スタンプラリー

デザインアート
イルミネーション

花火
募金

ポスター
宣伝
PR



チャレンジしよう

04

トライ & エラー

子供たちに任せる。子供に任せるとは、ほうっておくというのではなく、私たちと関わりながら一緒に作っていくということです。大人はちゃんとしたものを子供たちに作らせようとしています。そうすると、どうしても大人の考えが強くなって、成功させる企画になり、子供たちからしたら、やらされてる感が強くなる。大人の言うようにやってれば簡単。そうすると、挑戦しなくなる。子供たちに任せて失敗したら失敗したで、次に何ができるか、どういう力を子供たちに付けてあげたいのか、というスタンスでいます。

子供たちがやりたいようにやりたいことをやって、結果、どうだったのかを振り返る。トライ&エラーを繰り返して次につなげていき、1つのイベントを自分たちで作り上げていくんだという気持ちを大事にしてほしいと思っています。



取組を通して感じること

05

取組を通して



子供たちが企画することにより地域の方
だけじゃなく保護者の方もサポートして
くれるようになった。
ふれあいの場が少しずつ広がっている。



他のお祭りより規模が大きいわけではない。
しかも手作り感満載な祭です。
でも、子供たちが企画する祭！ここはブレず
にいます。
子供たちの成長をめちゃくちゃ感じてます。

山の手ふれあいまつり2023

日時 9月23日(土)

会場:小須戸地区ふれあい会館

12:00 プレオープン

15:00 ステージイベント

18:30 花火



THANK YOU!

ありがとうございました



グループワークの様子 (写真)



収束シート 1 班

目指す未来像
↓
相互円満 (みんな楽しい笑顔)

課題
↓
79世代(30~40代)の間わりが希薄

解決策
↓
* 秋葉山をオシレテ場に!
* アウトドア

収束シート 2 班

目指す未来像
↓
幅広い年齢の人々と
固定観念にとどめず交流
新しい意を大切にしよう

課題
↓
共働き、地域がない、後継者不足
興味をなくさ、かけがえなく

解決策
↓
自分の子どもが立身
働き方改革
そこがまだ別のPTAでか
スーパードック、店舗
お茶に取りあわさる、かけがえなく

収束シート 3 班

目指す未来像 (その時々にできることを)
↓
いろいろな世代がつかぬ

課題
↓
仕事盛りの人、子ども、おとな、人
退職がどんどん進く、中学校からはかかわり
地域性、中学校でCSを
つら...

解決策
↓
① しつにお
② 夢を語るだけじゃなく
具体的に何の実現にいく

収束シート 4 班

目指す未来像
↓
全員参加

課題
↓
世代間交流

解決策
↓
、きっかけ作り
(イベント、防災訓練等)

収束シート 5 班

目指す未来像
↓
楽しく居心地の良い地域づくり

課題
↓
人材 予算 14-16

解決策
↓
高齢者の活用
子ども中心のイベント企画
知37総会
情報交換ツール
活用

収束シート 6 班

目指す未来像
↓
無理せずできる部分から、
子供中心! = 700円〜2000円
子供

課題
↓
・何のために? 共有でできる!!
・誰のために? 共有でできる!!
・やる事、タリ、
・1人1人やる事、タリ
・1人1人語り、語りあう

解決策
↓
・子供のE&L!
子供がPTA
E&L、子供中心
で何の実現か
子供がPTA
E&L、子供中心
で何の実現か
子供がPTA
E&L、子供中心
で何の実現か

収束シート 7 班

目指す未来像
↓
子どもが中心となり、水たまり、人材育成、
地域の

課題
↓
世代間の交流不足(場所・時間不足)
個人情報の取り扱いの問題
ボランティアの取り扱いは、有償?

解決策
↓
この定例では
コミュニティ世代間交流の機会をつくる。 (コミュニティ)
見直し、意見交換もスムーズにする。 (地域)
情報共有

収束シート 8 班

目指す未来像
↓
年配の方と若い世代がともに地域活動を行う

課題
↓
若い方が地域の工場の参加が少くない
スポーツの指導をしてくれる人材が少ない

解決策
↓
地域活動としてくれる人と若年世代を全くとらう。

収束シート 9班

目指す未来像
↓ CSとコミ協の合同作業 (合同な行事)

課題
↓ 動ける地域と動けない地域がある

解決策
↓ リンキングを取ってくれる人がいたら...
先ずはやる!!
コミ協・学校それぞれ風通しを良くする
(それぞれのやり方でいいよ!)

収束シート 10班

目指す未来像
↓ 大人も子どもも主役になる町

課題
↓ 誰かリーダーになるの
難い場合

解決策
↓ 大人も子どもも参加するイベント
参考
コミ協 1014571

収束シート 11班

目指す未来像
↓ 三者のつながりが強固である

課題
↓ 横や縦のつながりを深める場
地域色を発揮したりいかしやすさ場

解決策
↓ 地域の祭りの復活
飲み会やテニスの設定
三者がある話し場の設定

収束シート 12班

目指す未来像
↓ 一つに「つながる」

課題
↓ 少子化・高齢化・地域の合併
人口や世帯の減少・高齢化

解決策
↓ 自然・祭り・食
地域の発展 ← 人が集まる!
魅力ある地域・地域の愛着
子どもたちの学びの発信

収束シート 13班

目指す未来像
↓ いつでも誰とでもつながる
地域のパートナーシップ

課題
↓ 組織に入っていない地域住民を
どう巻き込みたい?

解決策
↓ 町教育コーディネーターがコミ協がしかり情報共有?
コミ協は地域の人的資源を發揮してかく
→ 紹介した人に依頼が極く「しつこく」
本来ビジョンと課題、地域独自の文化を創出する

収束シート 14班

目指す未来像
↓ いろいろな世代の方が地域に暮らしてきて
みんなが居合える地域 楽しく暮らせる地域

課題
↓ 組織に壁がある。(学校、コミ協...)
学校側とコミ協側との考えの相違
コミ協も各自自治体とまとめるのが難しい
価値観の多様化

解決策
↓ 住民が地域がめざす問題や課題を共有する → 話し合い
(コミ協、田舎、SNS) 両方必要!!
防災訓練、地域巡回乗組員 ← 子どもを中心に
企業に誘
子どもが考え発信
できる機会

収束シート 15班

目指す未来像 災害時の連携を深めるために
↓ 地域の子どもと大人の関係作りの強化

課題
↓ 情報共有のための個人情報壁をどうやって無くすか
「知らない人」→「地域の人」に認識を変える
機会をつくるためにどう動くべきか

解決策
↓ 「ハートナサイン」(新しい挨拶・安心できるサイン)
全責任をとってくれるリーダー
話し合いができる場作り

収束シート 16班

目指す未来像
↓ 子どもと地域が関係が深くなる
つながりのある地域

課題
↓ 若い世代へどうつながるか? 学校規模の縮小
子育てがしやすい世代にどうつながるだろうか
子どもと地域がどうつながるか? 子どもの居場所づくりには、

解決策
↓ 地域の方にコミニスタールを知ってもらう。学校の希望を
学校行事や地域行事で学校と地域がもっとつながる機会を
つくる
中学生はもともと地域に出て即ち機会(小学生も即ち出てきた...)

17班

収束シート

目指す未来像 **働く場**
↓ 安心して送れる老後の生活

課題 地域、世代、立場で違う考え方
↓ 「少子高齢化」「等」

解決策 世代間とこえて集まれる事業、**夢田舎**
△「未来に何を残すか」
○「〇〇地帯から〇〇地帯へ」
・とにかく話す、会話を促す。

18班

収束シート

目指す未来像
↓ **地域全体で取り組む体制**

課題 **大人がまとまらない**
↓ (会場の資料が活用される必要性を訴える)

解決策
・ **子どものために動くシステム**
・ **子どもを信じて子どもにまかせる**
(子どもが動くシステム)

19班

収束シート

目指す未来像
↓ **子どもを主体とした地域 教育連携**
(後の地域の発展) 地域、全体的な地域

課題 つかい地域のつながり 年齢は比較 同名の問題
↓ 関心、主体性のうき

解決策
・ ほか教育委員会との共有場をつくる。
・ 親、地域が模範的に学ぶと共有する。

20班

収束シート

目指す未来像
↓ **地域の全ての人(子どもから高齢者)が**

課題 **関わること**
↓ 子どもがいない家庭の関心が薄い
・ 成長すると関心が薄くなる

解決策
・ 子どもが関わる活動を通じて
地域をまきこみ 色々な人が参加できるようにする
・ 地域社会の様々な組織の連携

21班

収束シート

目指す未来像
↓ **地域全体で魅力あるふじを作**

課題 **地域、保護者、学校の横のつながり**
↓ 大人の関心、意識を高める

解決策
・ 地域の魅力ある場を巡る機会をつくる。
・ 科特区全体で各地域の特性を共有、発信する。

22班

収束シート

目指す未来像
↓ **子供が小さい頃から地域社会とのつながりをもつ。**

課題 **人材(PRA役員やコミ協)の不足**
↓ お互い助け合いにはどうすればいいか?

解決策
・ 地域の方が参加しやすいイベント開催
進んで参加できるような新しいシステム作り

23班

収束シート

目指す未来像 **総合的な学習を地域へ開放**
↓ 地域を主体に考えるように (地域の方々の協力を借りて) 自主性を

課題 **学校へ要望が殺到すると学校が手一杯。**
↓ 家庭生活が忙しすぎる。家庭の手一杯。
(責任) 教員が評価を度さない。地域と連携を共有、開放。

解決策
・ 役割り、任り分け。
・ 教職員免許は必要ない。スペシャリストはいる。
・ 総合の時間を削って 文科省が認めてくれると、教員に別の時間 (子どもへの対応) 使える。

24班

収束シート

目指す未来像 **子ども大人も、自分の地域**
↓ **を一番想えるために、地域の中で最大のサービスを受けたい。**

課題 **サービスの提供しやすさ、人が提供できる**
↓ **地域の人にも金、自然の恵み**

解決策 **最大限に活用お持続可能なシステムづくり**
◎ **コミ協間の事業の連携** (活用)
◎ **民間の活用**
◎ **リーダー育成** ◎ **先行事例**

収束シート

目指す未来像



あてがわかれた活弁でなく、自主性のあるものがよい。
自分たちで企画、実現できる

課題



子どもたちの自主性が育たぬ声かけの大人が少ない。機会が
「コミュニティ」で考えよう。
学校手帳がない。→本来の姿 ^{必要} 熱意が大事

解決策

模範的授業の活用... 今の仕組みの問題。
「大人」学校の学習。地域の事は地域に任せ。
子どもたちの事を考えていく。
学校変えるスクリプトが必要